

運ぶを最適化する



持続可能な物流の実現に向けた検討会

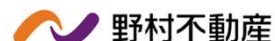
MOVOによる2024年問題へのアプローチ

株式会社Hacobu

企業名	株式会社Hacobu
設立	2015年6月30日
ミッション	運ぶを最適化する
ビジョン	持続可能な物流インフラを創る
業務内容	物流管理ソリューションMOVO（ムーボ）の開発・運営
社員数	約100名
調達資本	約25億円
株主	

ASKUL

SONY



運ぶを最適化するために、2つの事業を展開しています

クラウド/SaaS型の
物流管理ソリュー
ションご提供

物流DX推進の
コンサルティング



データで 運ぶを最適化 している世界

- 個社最適からサプライチェーン全体最適の世界
 - データからトラックをシェアし積載率を上げる世界
 - 無駄な配送をしない世界



アナログな情報共有
(もしくは共有されていない)

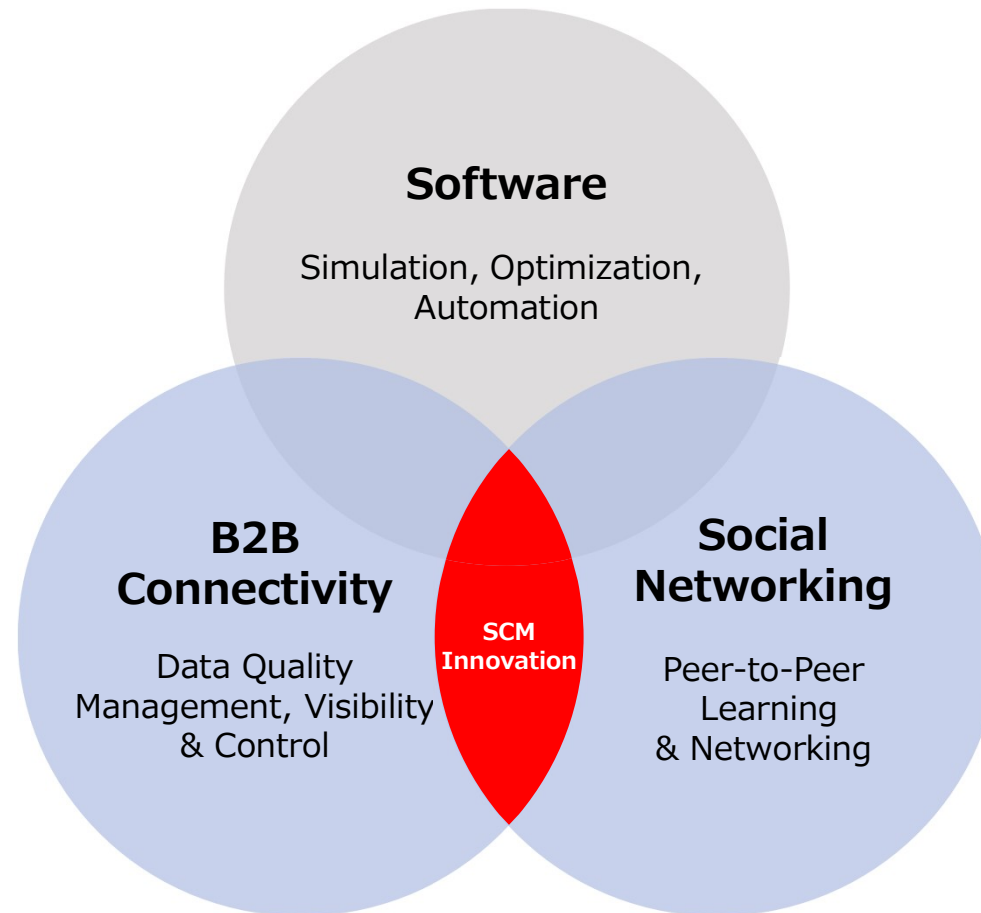
データで
運ぶを最適化
している世界

アナログな情報共有
(もしくは共有されていない)

関係者がデジタルに
つながる物流インフラ

データで
運ぶを最適化
している世界

Where to Find Supply Chain Innovation*



* Talking Logistics HPより

トラック予約・受付サービス

MOVO Berth

(ムーボ・バース)

物流センター運営にかかるコストを削減し、生産性の向上を支援!

- ・車両待機問題の解消
- ・計画的な庫内作業の実現
- ・車両やバースの状況を即座に共有
- ・接車誘導や伝票突合わせの工数削減



動態管理サービス

MOVO Fleet

(ムーボ・フリート)

車両管理の効率化で、荷主と運送会社双方のコスト削減を実現!

- ・走行データを蓄積し活用
- ・自社・備車を一括で管理
- ・遅延見込みを自動で通知
- ・配送効率の向上



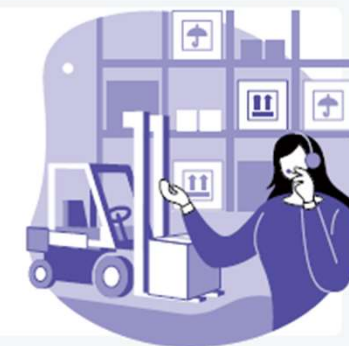
配送案件管理サービス

MOVO Vista

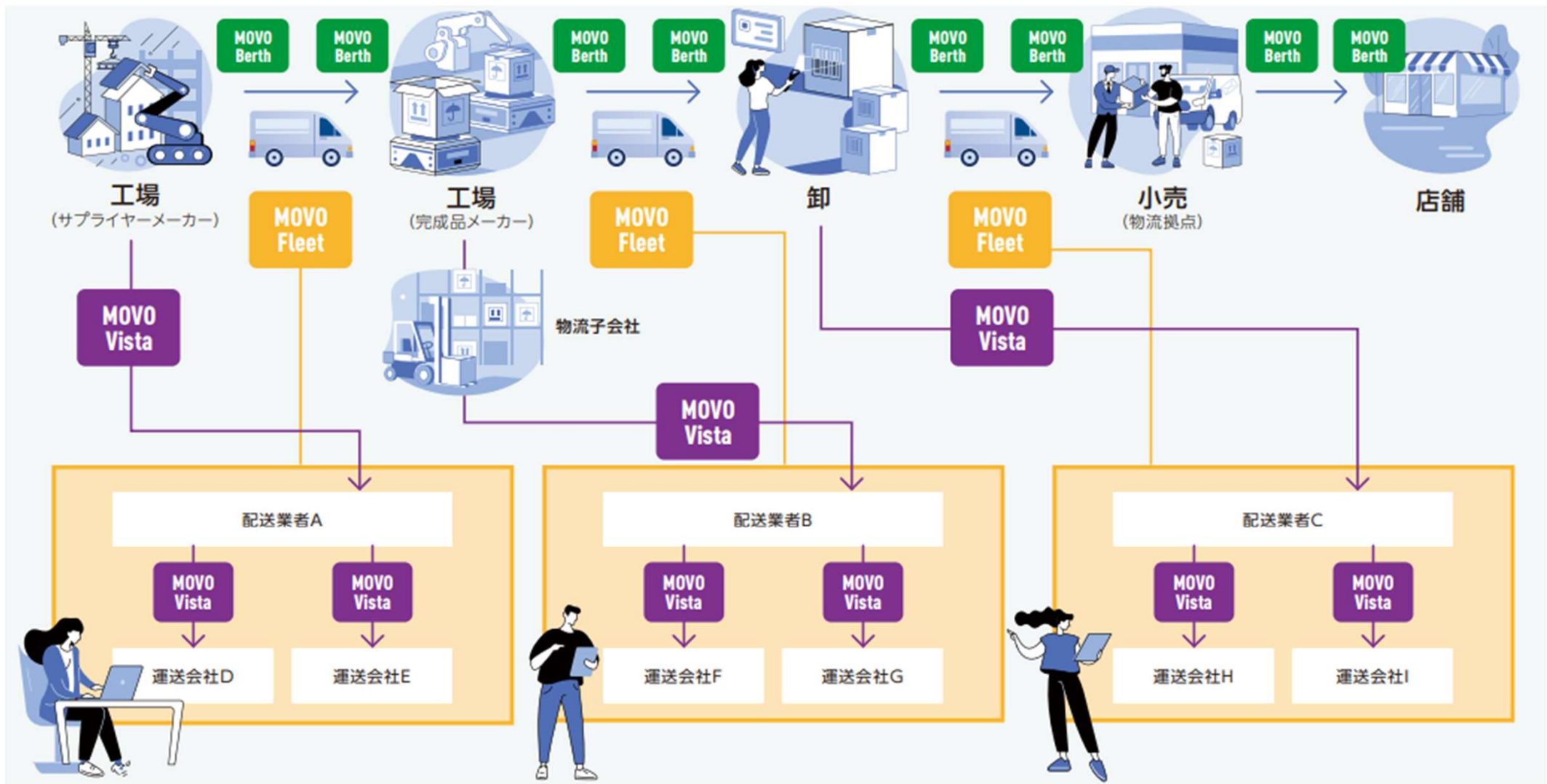
(ムーボ・ヴィスタ)

配送業務をデジタル化し、生産性向上を支援!

- ・FAX、電話、メールのコミュニケーションをデジタル化
- ・オンライン上で受発注・請求管理
- ・リアルタイムな納品確認

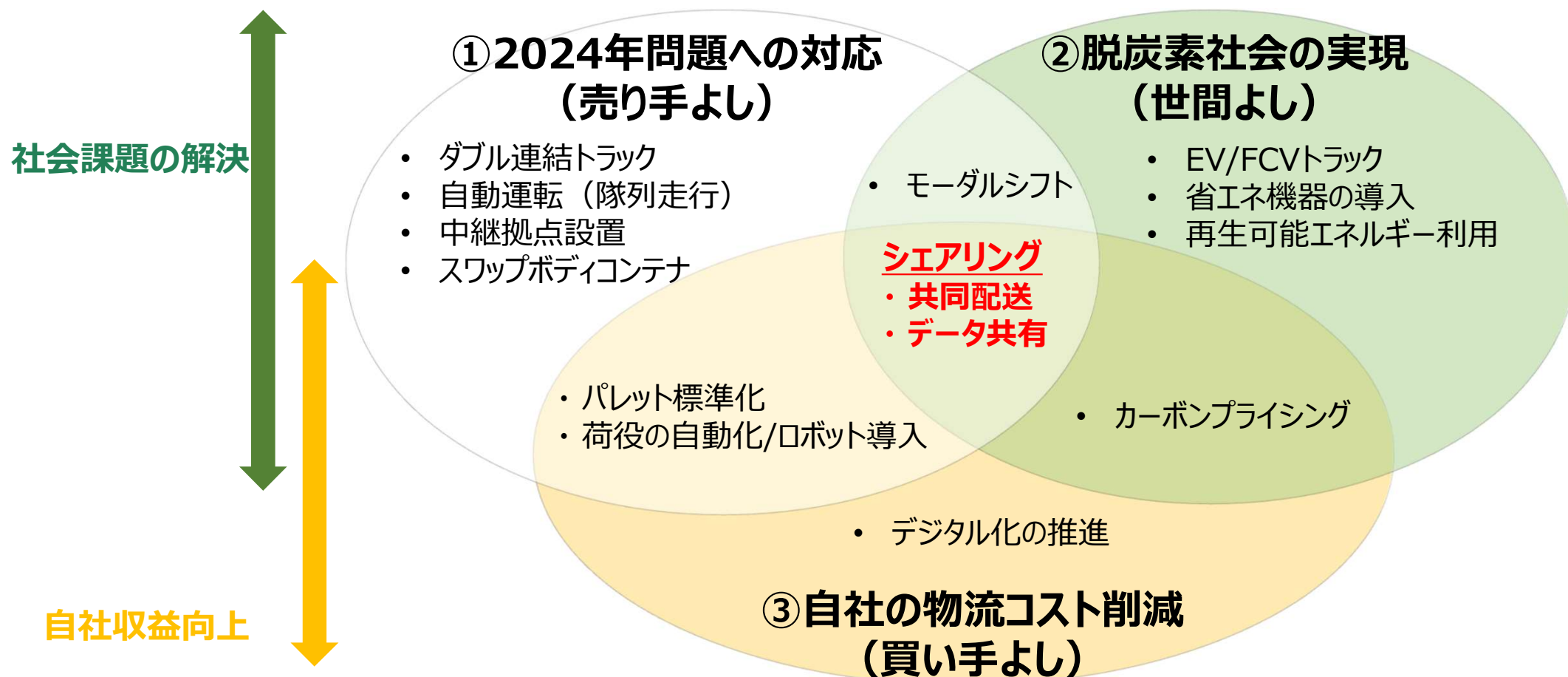


MOVOは、物流にかかわる関係者をデジタルにつなげます



- **MOVO Berth** :
サプライヤー/車両と、センターがつながって、待機車両が減り、庫内の生産性が上がる
- **MOVO Fleet** :
荷主/元請け/店舗と、車両（含、協力会社）がつながって、運行実態の確認の手間が減る
- **MOVO Vista** :
荷主/元請けと、運送会社がつながって、配送手配の連絡の手間が減り、請求・突合の煩雑さがなくなる

①2024年問題への対応、②脱炭素社会の実現、③自社の物流コスト削減、の全てを満たす解決策は、シェアリング（共同配送・データ共有）である

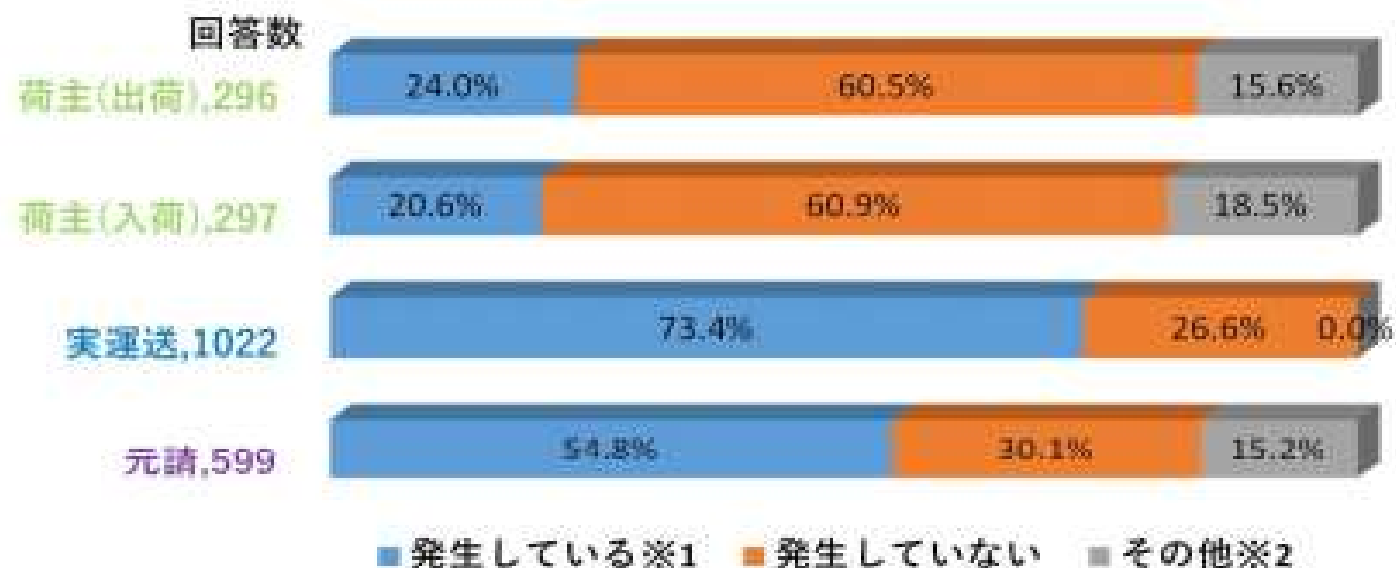


データ共有がなされていないため、現状認識が立場によってまったく違う



荷主・物流事業者の双方でデータ共有をしなければ、問題があるのかわからないのかもわからない

【荷待ち時間の発生有無】



※1：荷主調査では「時間までは把握していない」を含む

※2：荷主調査では「把握していない」を含む、事業者調査（元請）では「不明」を含む

2-2 バース予約受付管理システム導入の目的と経緯

- 改善活動により、課題やボトルネックが明確になり、またアナログでの分析に限界を感じた為、2020年課題解決を進めるシステムの**全センター導入**を決定

【課題】	【対策】	【ツール】
＜ボトルネック＞ 車両の7時前 7時台集中	分散化	バース予約システム
車両呼出時のタイムロス	簡素化	呼出誘導システム
分析に時間を要す紙媒体 配車主体を把握できない	可視化	受付システム

2-2 バース予約受付管理システム導入の目的と経緯

- 改善活動により、課題やボトルネックが明確になり、またアナログでの分析に限界を感じた為、2020年課題解決を進めるシステムの**全センター導入**を決定

【課題】	【対策】	【ツール】
＜ボトルネック＞ 車両の7時前 7時台集中	分散化	バース予約システム
車両呼出時のタイムロス	簡素化	呼出誘導システム
分析に時間を要す紙媒体 配車主体を把握できない	可視化	受付システム

データ共有

これだけの方とつながり、データ共有をすることで成果を上げた



Special・thanks 予約アカウント取得 事業所様 (アイウエオ順 敬称略 2021年4月16日現在)

ABCロジテム株式会社 清原センター
F-LINE株式会社 久喜物流センター
F-LINE株式会社 鶴見物流センター
F-LINE株式会社 尾島物流センター
F-LINE株式会社 高崎物流センター
F-LINE株式会社 三郷物流センター
F-LINE株式会社 川崎物流センター
FVジャパン株式会社OEM事業部業務課
KGL羽生支店
SBSフレック株式会社四谷第一営業所
SBSロジコム株式会社 京葉支店
SBSロジコム株式会社新杉田物流センター
アイリスオーヤマ株式会社
アイリスオーヤマ株式会社 角田工場
アグリ株式会社
アサヒビール株式会社 茨城工場
アサヒロジ株式会社 横浜支店
アサヒロジ株式会社 関東支店
アサヒロジ株式会社 厚木センター
アサヒロジ株式会社関東支社輸送部
アサヒロジ株式会社東京支社埼玉支店
アシードブリュー株式会社
イチソウ・ロジ株式会社 東海物流
いなば食品株式会社東京支店
エスエスケイフーズ株式会社 業務グループ
エスピー食品株式会社 首都圏物流センター
カトーレック株式会社 埼玉営業所
カナエ紙工株式会社
カルビーロジスティクス株式会社 埼玉センター
カルビーロジスティクス株式会社 東日本センター
キーコービー株式会社 SCM本部ロジスティクス部

キャリテック株式会社 坂戸DC
キューソー流通システム富士見営業所
キリングループロジスティクス株式会社
キリングループロジスティクス株式会社 埼玉三芳支店
キリングループロジスティクス株式会社 東日本支社営業部
キリングループロジスティクス株式会社 北関東支店
麒麟ビール取手工場
麒麟ビバレッジ千葉センター(遊澤倉庫株式会社)
ケイエス急送有限公司
ケイヒン陸運株式会社 城北営業所
ゴートック株式会社関東物流センター
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社印西DC
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社久喜センター
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社川島DC
サントリーロジスティクス株式会社
ジャパン・シーズニング株式会社 埼玉支店入間営業所
ジャパンシーズニング株式会社埼玉支店
セイノースーパーエクスプレス株式会社 埼玉ロセンター
セイノースーパーエクスプレス株式会社 新座営業所
センコー株式会社 久喜PDセンター
センコー株式会社柏支店内守谷営業所
センコー株式会社名古屋貨物ターミナル駅構内
タイランドフィッツシャリージャパン株式会社
タカラ物流システム株式会社 共同配送センター
タカラ物流システム株式会社東日本支社
テーブルマーク株式会社物流部
テーブルランド(丸善食品工業)
トウロジテム株式会社 埼玉西センター
トールエクスプレスジャパン株式会社 熊谷支店
トールエクスプレスジャパン株式会社 埼玉支店
トールエクスプレスジャパン株式会社 東京支店

トナミ運輸株式会社 葛西支店
トナミ運輸株式会社 熊谷支店
トランコム株式会社 久喜LC
ハイスサービス株式会社群馬営業所
ハマヤ株式会社 東京営業所
ハラダ製茶販売株式会社
ハルナプロデュース株式会社
ヒゲタ醤油株式会社
フライスター物流株式会社 野田営業所
フライスター物流 坂戸営業所
まるか商事株式会社
マルサンアイ株式会社 マルサンアイ物流センター
マルサンアイ株式会社 高崎物流センター
マルゼン運送
ミズノトレーディング株式会社
ミナモト倉庫株式会社越谷営業所
ミフネ運送株式会社
ヤクルトロジスティクス株式会社 群馬営業所
ヤマサ醤油株式会社成田工場
ヤマダイ株式会社本社
ヤマトボックスチャーター株式会社 所沢支店
ヤマトボックスチャーター株式会社 船橋支店
ヤマト運輸株式会社 入間新光支店
ヤマト運輸株式会社 豊富支店
ヤマト運輸株式会社 新座コンテナ支店
ヤマト運輸 埼玉江南センター
ヤマニ屋物流サービス株式会社 食品共同配送事業部
安全輸送 明治屋東日本物流センター
伊原運送株式会社
越後製菓株式会社 片貝工場

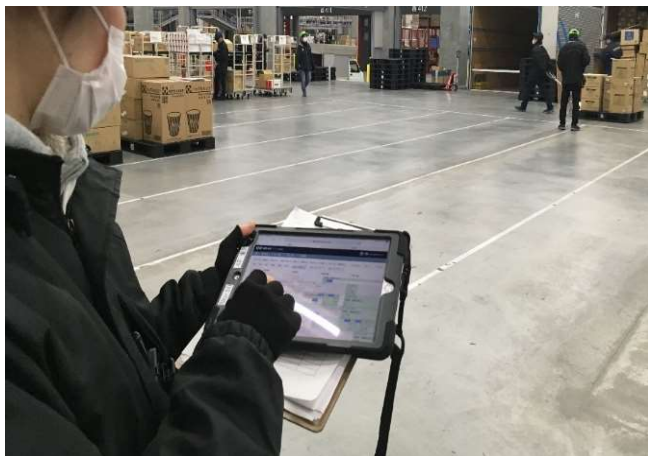
2-2 バース予約受付管理システム導入の目的と経緯

- 改善活動により、課題やボトルネックが明確になり、またアナログでの分析に限界を感じた為、2020年課題解決を進めるシステムの**全センター導入**を決定

【課題】	【対策】	【ツール】
＜ボトルネック＞ 車両の7時前 7時台集中	分散化	バース予約システム
車両呼出時のタイムロス	簡素化	呼出誘導システム
分析に時間を要す紙媒体 配車主体を把握できない	可視化	受付システム

デジタルツール
による簡素化

42万人のドライバーが一度は利用したことがあるので、スムーズに運用に寄せられた



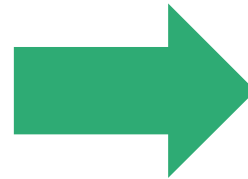
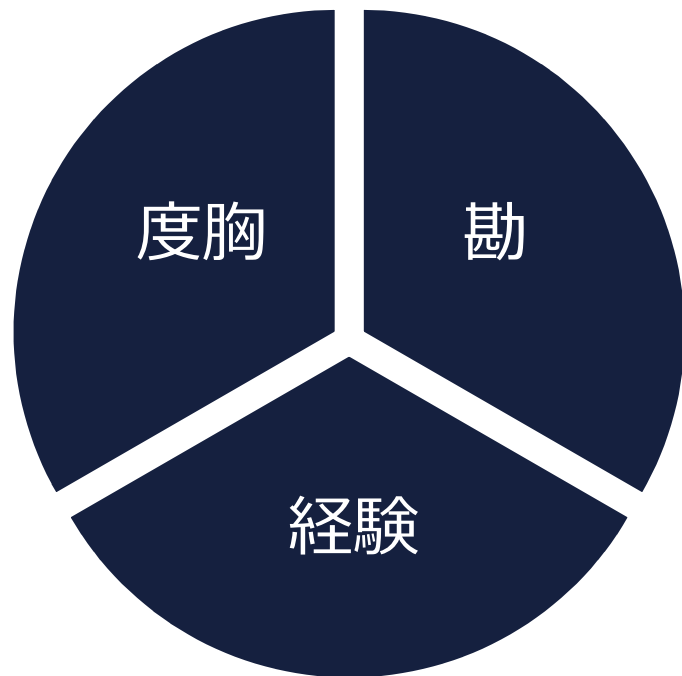
2-2 バース予約受付管理システム導入の目的と経緯

- 改善活動により、課題やボトルネックが明確になり、またアナログでの分析に限界を感じた為、2020年課題解決を進めるシステムの**全センター導入**を決定

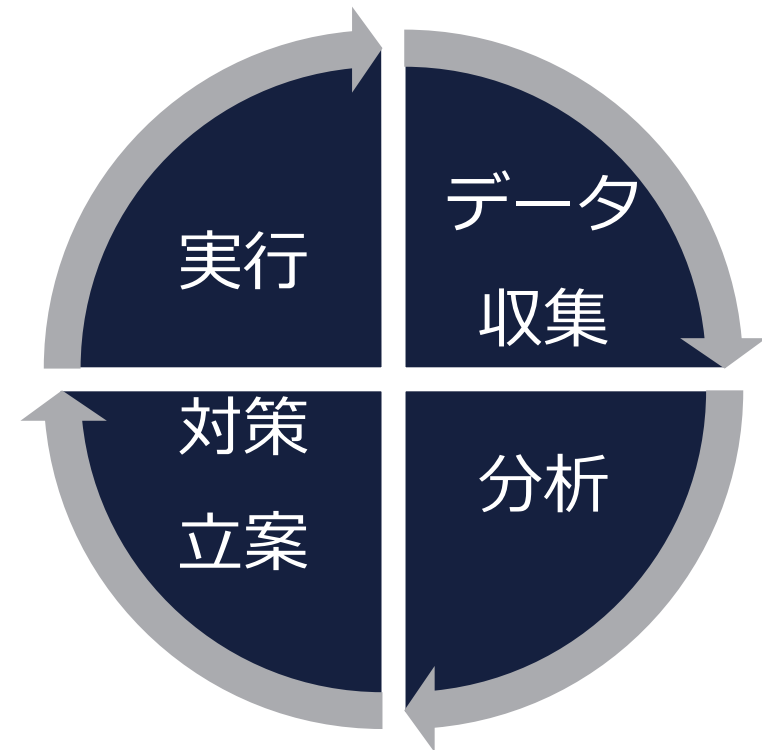
【課題】	【対策】	【ツール】
＜ボトルネック＞ 車両の7時前 7時台集中	分散化	バース予約システム
車両呼出時のタイムロス	簡素化	呼出誘導システム
分析に時間を要す紙媒体 配車主体を把握できない	可視化	受付システム

データ収集

KKD Logistics

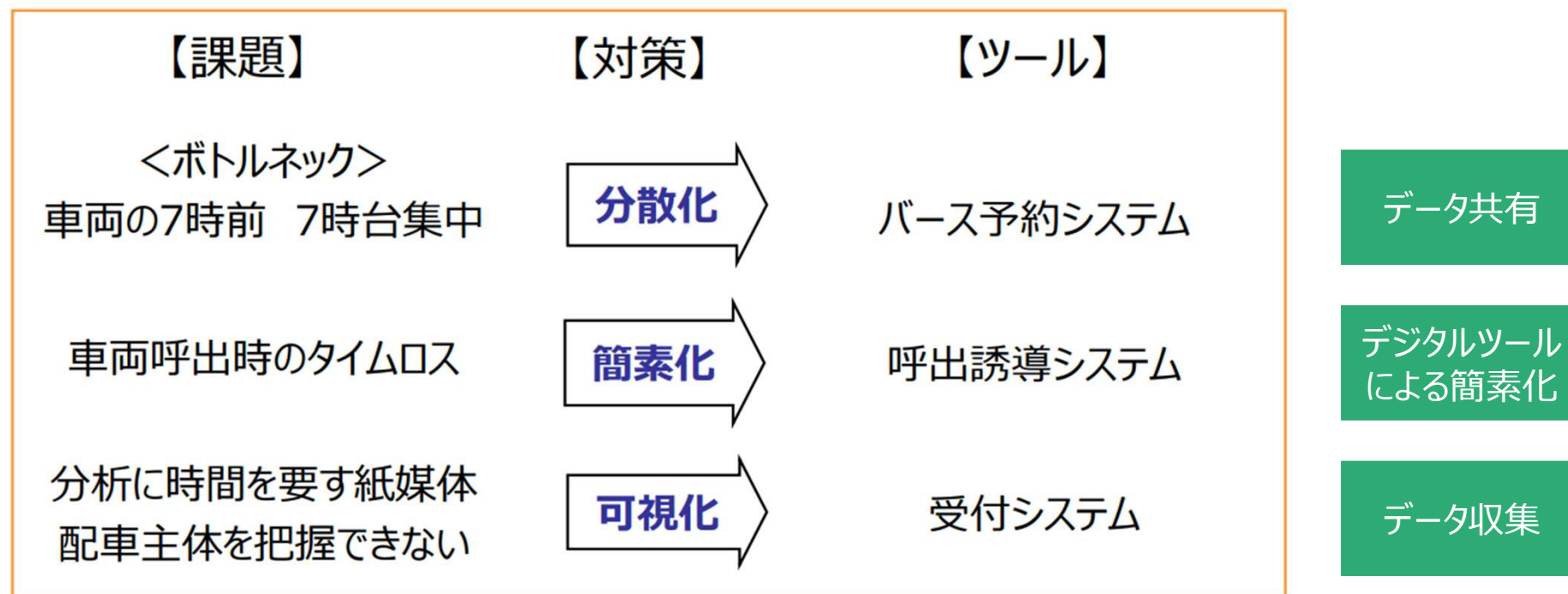


Data-Driven Logistics®



2-2 バース予約受付管理システム導入の目的と経緯

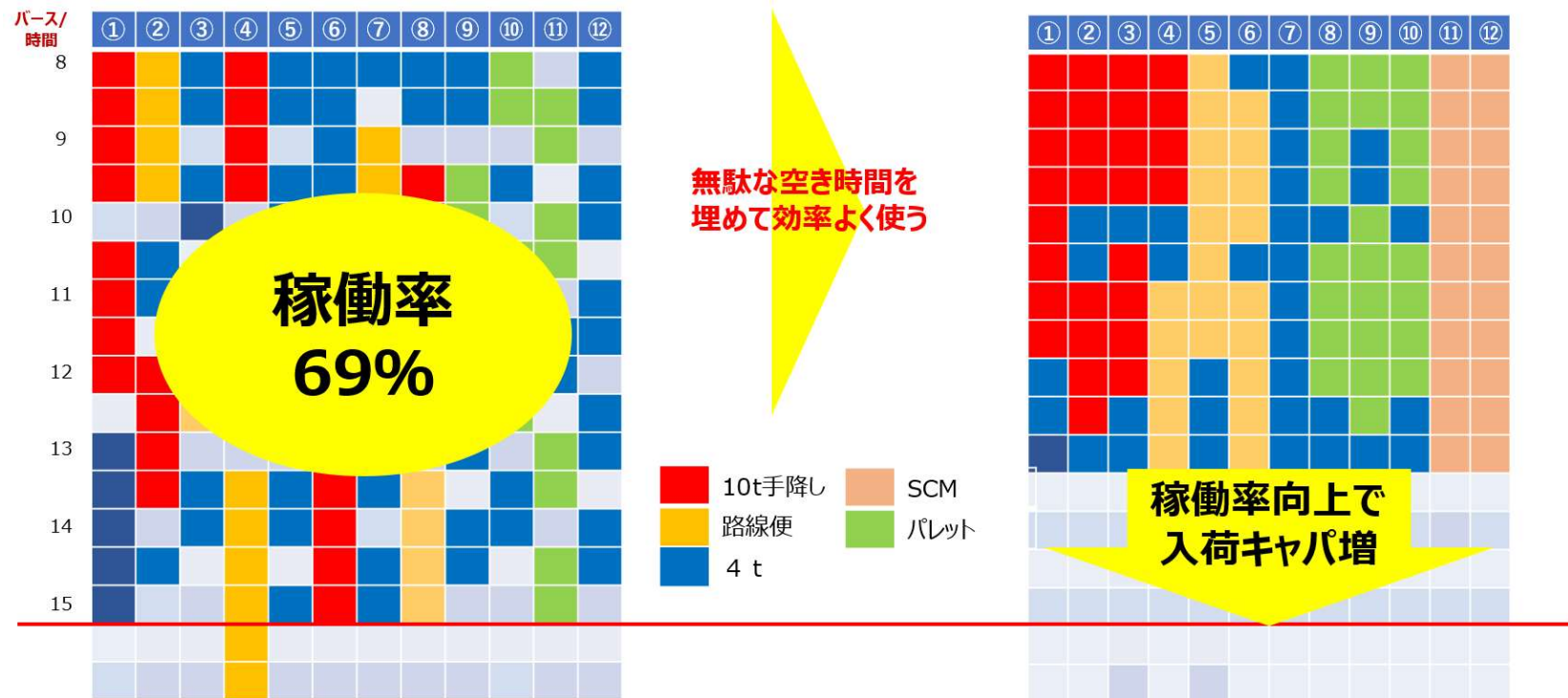
- 改善活動により、課題やボトルネックが明確になり、またアナログでの分析に限界を感じた為、2020年課題解決を進めるシステムの**全センター導入**を決定



導入事例：アスクル

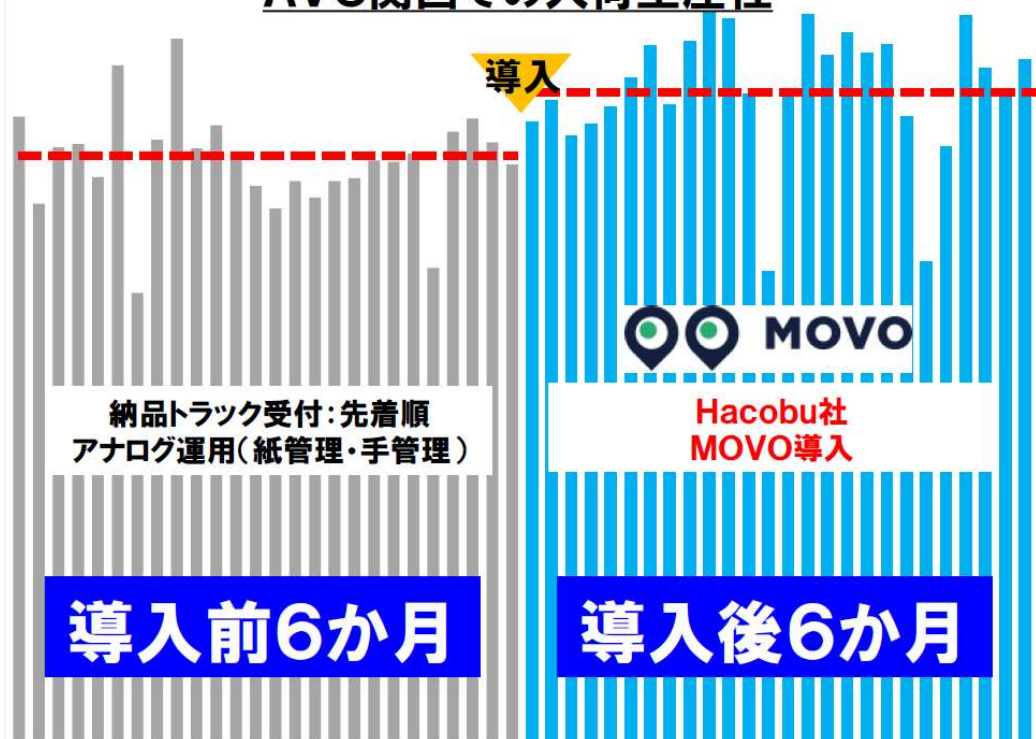


当初は「売り手よし」＝待機時間削減を目的に導入を決定したが、結果的に「買い手よし」にもつながった事例。事前予約による接車から棚入れまでの動線の最適化と作業状況に応じた空きバースの活用で、最大2時間の効率化、労働時間の短縮に



入荷バース※予約システムの導入による入荷生産性向上

AVC関西での入荷生産性



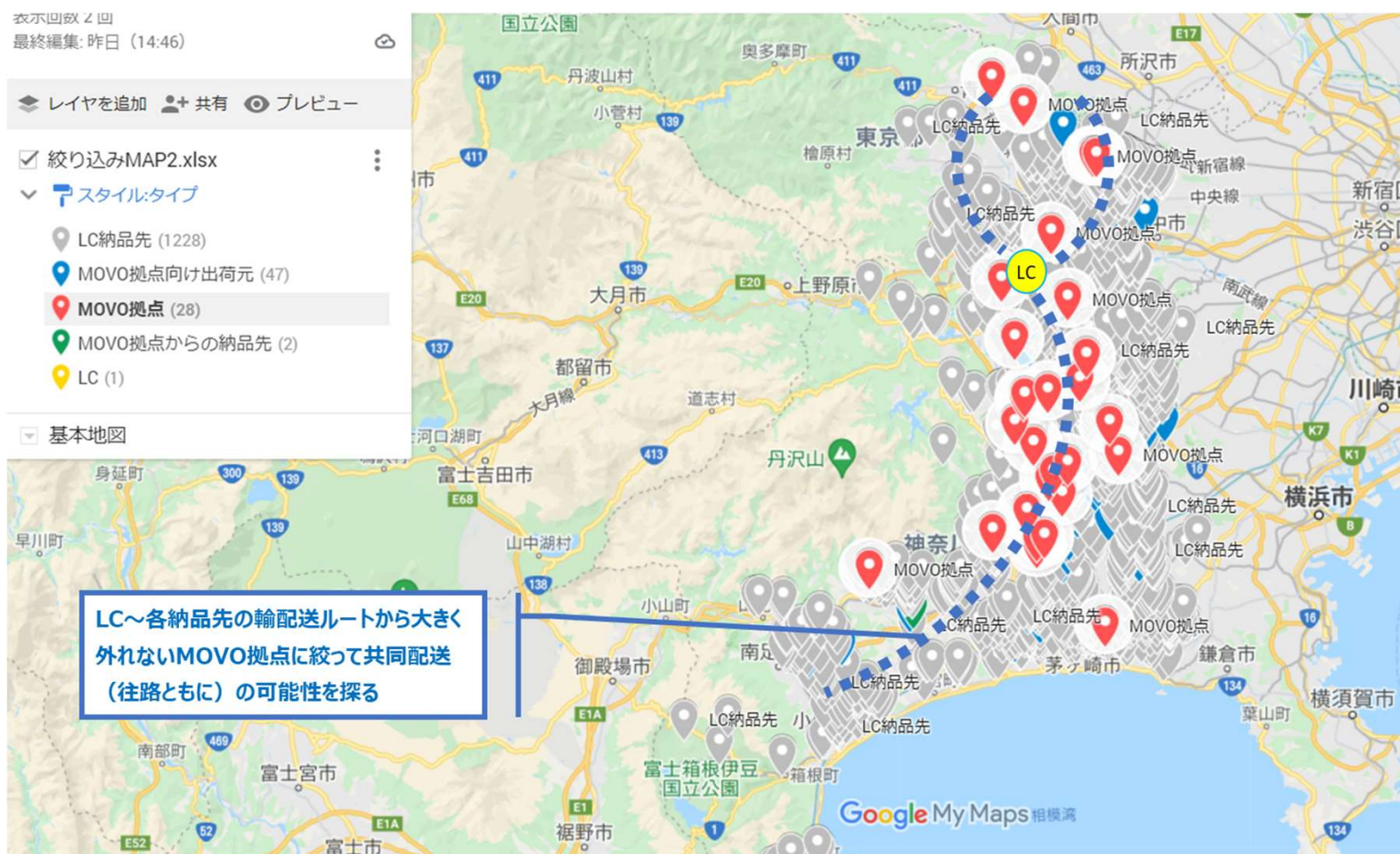
入荷生産性
10% 超向上
トラックの平均待機時間
1/3以下

※トラックと倉庫の間で荷物の積卸しをするために、物流施設内でトラックを接車するスペース

MOVO導入拠点データからの共同配送マッチング



MOVO導入拠点に定期的に入出入りしている車両（輸送ルート）との共同配送の可能性を探る分析の一例



- シェアリング（共同配送・データ共有）が鍵になる
- まずはデータ共有を行い、着荷主と発荷主、荷主と物流事業者、本社と現場など、立場が違う人同士の相互理解を
- データ共有をするためのデジタルツールの活用は、直接的な工数削減だけでなく、データ分析による改善にもつながるので、二度、三度おいしい
- 将来的には、企業間を超えた共同配送に有効なデータにもなる